

1 活動名

体験を共有するための Zoom を活用した取組

2 対象

- ・ 中学部の生徒

3 内容と取組の様子

- ・ Zoom を活用して以下の活動に取り組みました。

- ①「お花見をしよう」…コロナウイルス感染症予防のためにお花見には出掛ることができず、バーチャルお花見を行いました。全国10か所の名所の画像（背景として設定し、レポーターに扮した教員が実況・写真左）や動画（旅番組気分で教員がナレーションを行う）を活用しました。また、YouTube 動画のような雰囲気です「まつおば・しょうの俳句教室」も行い、桜を季語として織り込んだ俳句をそれぞれが発表しました。
- ②「人の体を知ろう」…正しい手洗いと歯磨きの方法について学習しました。手洗いチェッカー（ブラックライトに反応する薬品）を手指に付け、実際に洗剤で手洗いし、しっかりと洗えているかを確認しました。また、プラークチェッカーで口腔内を染色し、歯の汚れ具合を確認しました。この二つの活動の際に、手洗い場と教室を Zoom でつなぎ、友達の手洗いや歯磨きの様子を順番に観察しました（写真中央、右）。



4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・ タブレット型端末 ・ 桜の名所の画像や映像 ・ アプリ (Zoom)
- ・ スクリーン&プロジェクターまたはテレビ
- ・ 手洗いチェッカー, 手洗い洗剤, ブラックライト, プラークチェッカー

5 おすすめポイント

- ・ 行くことが難しい場所でも、バーチャルでの体験が可能になる。
- ・ 普段の授業とは異なる雰囲気によって、興味関心をもって学習活動に取り組むことができる。
- ・ 双方向のやり取りを経験することで、コミュニケーション能力の向上につなげることができる。
- ・ リアルタイムで友達の活動を観察することで、友達の良い点を見つけたり、自分が改善しなくてはいけないことに気付いたりすることができる。

6 さらに工夫したいこと

- ・ 誰でもできる、また、スムーズに授業の準備ができるようにするために、使用する機器や手順などを工夫していきたい。